



令和8年9月16日

成長分野転換基金の公募選定結果をお知らせします

成長分野転換基金の一部のメニューにおいて公募を行い、選定しましたのでお知らせいたします。

1. 事業の概要

「成長分野転換基金」は、デジタル・グリーン等の成長分野への学部転換等を支援する目的で、令和4年度第2次補正予算で造成したものです。令和7年度補正予算で200億円を積み増しし、既存分と合わせて1,000億円規模で再始動しました。将来の社会・産業構造変化を見据え、大規模大学を含めて、成長分野への学部等転換・重点分野の人材育成を推進していくため、以下の枠組みによる支援を行います。

- ・支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等（公私立大学が対象）
- ・支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化（国公立の大学院・高専が対象）
 - ①高度情報専門人材育成枠
 - ②重点分野支援枠

このうち、支援2については、令和8年3月27日～5月29日で公募を受け付けた上、本事業の実施機関である独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」）に設置された外部有識者からなる大学・高専機能強化支援事業選定委員会における審査を踏まえ、機構において選定を行いました。

2. 選定結果

- 支援2 ①高度情報専門人材育成枠：3件（高専）
②重点分野支援枠：25件（国公立大学、高専）

3. 今後のスケジュール

順次、選定された大学への支援を開始する予定です。

4. 参考

本選定結果について、文部科学省及び機構のウェブサイトに掲載します。

URL（文部科学省）：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kinoukyouka/index.html

URL（機構）：<https://www.niad.ac.jp/josei/selection/>

<別添1>高度情報専門人材育成枠 選定高専一覧

<別添2>重点分野支援枠 選定大学・高専一覧

<別添3>事業概要

<担当>

文部科学省高等教育局専門教育課

企画官 星 幹崇（内線 2516）

課長補佐 中村 侑紀（内線 2097）

課長補佐 梅崎 沙織（内線 3308）

電話：03-5253-4111（代表）、03-6734-4964（直通）

成長分野転換基金 支援 2（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援） 高度情報専門人材育成枠の選定高等専門学校一覧

設置 区分	高等専門学校名 (※ 1)	開設予定	申請概要 (※ 2)
国立	東京工業高等専門学校	R 9	【養成する人材像】 サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合した未来社会を見据え、新しい価値を創造できるトップエンジニア、イノベーター 【特徴的な科目や教育内容の例】 テクノロジーと未来、システムインテグレーション、本科・専攻科一貫教育プログラムの新設等 【連携する組織】 東京科学大学超スマート社会推進コンソーシアム、東京高専技術懇談会、都立八王子桑志高校等
公立	福岡市立高等専門学校 (仮称) ※高専新設	R11	【養成する人材像】 AI やデータサイエンスを活用した価値創造や社会実装に挑戦できる高度専門人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 アイデア創出入門、ハッカソン演習、マイクロレデンシャルの導入によるが学修状況の可視化等 【連携する組織】 市役所内の関係部署、市内企業・大学、スタートアップ・エンジニア支援施設等
公立	愛知県立高等専門学校 (仮称) ※高専新設	R11	【養成する人材像】 情報技術と現場理解を基盤に、社会に新たな価値を生み出す高度なデジタルものづくり人材 【特徴的な科目や教育内容の例】 デジタルファクトリー実習、生成 AI と社会実装等 【連携する組織】 県内の自治体や企業との連携協議会、教育委員会、愛知総合工科高校、附属中学校等

(※ 1) 高等専門学校名は申請書ベースの記載であり、今後、名称の変更がありうる。改組のためには、別途、設置認可等の手続きが必要。

(※ 2) 申請概要は申請書を基に文部科学省にて作成。

成長分野転換基金 支援 2（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化） 重点分野支援枠の選定大学等一覧

設置 区分	大学等名 (※1)	事業計画名	設置 予定	戦略 17 分野 との関連	申請概要 (※ 2)
国立	北海道大学	北海道大学マテリアル開発×情報分野による「化学反応創成 DX 人材」の育成に向けた機能強化事業	R10	マテリアル、資源・エネルギー安全保障・GX 等	【養成する人材像】 DX 技術を活用し、化学の諸課題を解決できる化学反応創成 DX人材 【特徴的な取組や科目の例】 「化学反応創成学コース」設置、修士課程・博士後期課程一貫型教育、MANABIYA 実践プログラム（OJT 型教育）、社会実装・リカレント教育等 【連携する組織】 総合イノベーション創発機構化学反応創成研究拠点（ICReDD）、触媒科学研究所、電子科学研究所、遺伝子病制御研究所等
国立	室蘭工業大学	室蘭工業大学における航空宇宙デジタル技術を駆使した無人航空機分野の高度専門人材育成 ～防災・調査・輸送等の社会実装に向けた「情報×航空」融合型教育プログラムの構築～	R10	航空・宇宙等	【養成する人材像】 航空宇宙工学の基盤技術と情報技術を融合し、消防防災・酪農・建築土木分野などに使用される無人航空機の開発・社会実装を一気通貫で担う高度無人航空機システムエンジニア 【特徴的な取組や科目の例】 「無人航空機システム工学コース」設置、航空宇宙無線通信工学特論、画像処理特論、自律飛行特論等 【連携する組織】 北海道大学、北海道庁、室蘭市、大樹町、JAXA、道内高等専門学校、航空宇宙関連企業等

国立	山形大学	GX・エネルギー資源循環を AX/DX/共創で推進する高度人材の育成に向けた異分野連携学環の設立	R10	資源・エネルギー安全保障・GX 等	【養成する人材像】 AI・データサイエンスを基本ツールとして駆使し、材料・エネルギー・資源循環などの専門知を融合してサステナブル社会の実現に向けた GX を牽引できるトランスディシプリナリーな高度専門人材 【特徴的な取組や科目の例】 「エネルギー・GX 共創学環」設置、エネルギー・GX 共創特論、エネルギー・GX・資源循環インターンシップ等 【連携する組織】 産総研 FREA、山形県、米沢市、東北経産局、富士電機、伊勢化学工業等
国立	茨城大学	地域共創による次世代原子力デジタルツイン人材育成	R10	資源・エネルギー安全保障・GX、フュージョンエネルギー 等	【養成する人材像】 原子力・核融合分野でデジタルツインを活用し、原子力設備の解析・予測等を担う次世代エネルギー作業分野を支える高度専門人材 【特徴的な取組や科目の例】 「次世代原子力デジタルツインプログラム」設置、放射線シミュレーション演習、原子炉熱流動可視化実習、生成 AI システム開発特論、原子力・核融合インターンシップ等 【連携する組織】 日立製作所、日本原子力発電、JAEA、QST、韓国原子力研究院、茨城県等
国立	筑波大学	つくば地区連携強化による重点分野横断型応用物理・情報融合人材育成プログラムー半導体・量子・バイオ分野における AI 活用力を備えた人材養成ー	R10	AI・半導体、量子、合成生物学・バイオ 等	【養成する人材像】 半導体・量子・バイオ分野において、AI・情報技術を研究開発の中核的手段として活用できる高度専門人材 【特徴的な取組や科目の例】 「応用理工学学位プログラム」増員、半導体プロセス最適化、量子アルゴリズム設計、バイオデータ解析等 【連携する組織】 産総研、NIMS、筑波研究教育機構（仮称）、欧州・北米・アジアの海外大学等

国立	千葉大学	基幹工学・AI 情報技術 応用プログラム	R10	AI・半導 体、創薬・ 先端医療 等	【養成する人材像】 移動体や医療機器などの実現技術に精通し、社会の要求する装置やシステムの研究開発に AI を活用して実践的に応用できる人材 【特徴的な取組や科目の例】 「基幹工学・AI 情報技術応用プログラム」設置、基幹工学・AI 情報技術応用セミナー等 【連携する組織】 前川製作所、先端ロボティクス財団、QST、千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター等
国立	東京大学	国立大学法人東京大学 量子情報科学未来創成 教育プログラム	R10	量子 等	【養成する人材像】 量子技術と現代 AI の専門知、グローバル能力をベースに、量子技術の成果を学術・社会価値へと変換できる量子情報アーキテクト 【特徴的な取組や科目の例】 量子計算理論、データマイニング概論、量子コンピュータ、量子ネットワーク、動的バックキャスト課題、国際共同研究（必修）等 【連携する組織】 量子情報科学イニシアティブ(学内組織)、カリフォルニア大学バークレー校、シカゴ大学、CERN 等
国立	電気通信大学	電気通信大学「情報思考 型量子技術プログラム (IQTech)」の設置－物 理人材への「情報技術教 育&探究実践実習」によ る量子エンジニアの育成－	R9	量子 等	【養成する人材像】 量子物理と情報科学を基盤に量子技術を俯瞰する素養を備え、量子技術の設計・実装・運用までを実践できる情報思考型量子エンジニア 【特徴的な取組や科目の例】 「情報思考型量子技術プログラム」設置、量子情報リテラシー、量子技術実践演習、協働・探究実践演習等 【連携する組織】 体験型量子教育拠点（Q-Base）、QuEra 社、産総研、岐阜高専、インド工科大学等

国立	横浜国立大学	横浜国立大学におけるデジタル海事システムを牽引する高度造船・海洋人材育成	R10	造船、海洋等	【養成する人材像】 デジタル技術を基盤とした次世代の造船・海洋システムの構築を牽引できる人材 【特徴的な取組や科目の例】 「機械・材料・海洋系工学専攻」及び「先進実践学環学位プログラム」増員、海洋開発工学、海洋産業特論、海事宇宙システム工学演習等 【連携する組織】 造船海洋ルネサンス国際連携センター、造船8大学、サンパウロ大学、海事産業界等
国立	金沢大学	金沢大学・グリーンテック実践学：未来技術創出と社会実装を先導する博士人材養成	R10	資源・エネルギー安全保障・GX分野、マテリアル等	【養成する人材像】 材料探索から製造に至るプロセス全体をAI技術を駆使しながら再構築し、グリーンテック（再生可能エネルギー、資源循環、環境調和型）技術を社会に実装していく実践力を備えた高度人材 【特徴的な取組や科目の例】 「グリーンテック実践学学位プログラム」設置、グリーンテックのためのAI基盤・発展、グリーンテックデジタルツイン教育等 【連携する組織】 北陸地区国立大学連合、三井物産戦略研究所、株式会社ダイセル、インド・NIITE大学等
国立	三重大学	三重大学発：情報技術×先端バイオの融合によるスマートマリンフードシステム高度人材育成事業	R10	フードテック等	【養成する人材像】 海洋・水産・食品を繋ぐバイオ分野の専門知見と、AI・データサイエンスによる課題解決能力を兼ね備えた現場と技術をつなぐブリッジ人材 【特徴的な取組や科目の例】 「スマートマリンフードシステムコース」設置、マリンフードシステム学演習、食品分子科学特論、インターンシップ等 【連携する組織】 伊勢志摩海洋教育研究アライアンス、東海バイオコミュニティ、高等教育コンソーシアムみえ等

国立	京都工芸繊維大学	AI 融合先進航空モビリティ技術の発展へ向けた未来社会創造型高度専門人材の育成	R10	航空・宇宙等	【養成する人材像】 AI 融合先進航空モビリティに関する分野横断的な知識、問題解決能力、国際協働力、高い倫理観を兼ね備えた高度専門人材（未来創造 TECH LEADER） 【特徴的な取組や科目の例】 「先進航空モビリティ特別コース」設置、AI サロン「KitAI」演習、研究英オプログラム等 【連携する組織】 NEDO、東レ、大阪工業大学、京都航空宇宙産業ネットワーク、イタリア・ウーディネ大学等
国立	大阪大学	量子技術イノベーションのための人材確保に向けた機能強化事業	R10	量子 等	【養成する人材像】 基礎理論と実践力を兼ね備え、国際的な量子技術イノベーションに貢献し、将来の我が国の産業や学術を担える卓越量子人材 【特徴的な取組や科目の例】 「量子情報・量子生命研究院」設置、量子情報理論、量子シミュレーション、量子暗号・ネットワーク等 【連携する組織】 量子情報・量子生命研究センター（QIQB）、理化学研究所、産総研、大阪府等
国立	神戸大学	神戸大学 大学院 総合科学イノベーション研究科「デジタルバイオリフサイエンスコース」の設置 ～ 情報（AI・データサイエンス）を高度に駆使し、起業家精神を備えつつ、バイオ・創薬などの国家戦略技術領域を牽引する総合科学人材の育成	R10	合成生物学・バイオ、創薬・先端医療 等	【養成する人材像】 AI・データサイエンスを高度に駆使し、起業家精神を備えつつ、バイオ・創薬などの国家戦略技術領域における高度な専門性と異分野共創型の視野を兼ね備えた総合科学人材 【特徴的な取組や科目の例】 「デジタルバイオリフサイエンスコース」設置、デジタルバイオリフサイエンス科目、イノベーション情報学、アントレプレナーシップ教育等 【連携する組織】 神戸市、神戸医療産業都市、シンガポール国立大学、Microsoft AI Co-Innovation Lab KOBE 等

国立	奈良先端科学技術大学院大学	AI 開発実践力を涵養するデータサイエンス・AI コースの新設	R10	AI・半導体、創薬・先端医療 等	【養成する人材像】 モビリティ・バイオメディカル・半導体分野に関するデータサイエンス技術を身に付け AI を駆使できる高度情報専門人材 【特徴的な取組や科目の例】 「データサイエンス・AI コース」設置、ローカル AI 構築実習 PBL、AI 統合型生体動態解析 PBL、AI 半導体設計製造 PBL、海外研究インターンシップ等 【連携する組織】 奈良県、生駒市、南都銀行、関西経済連合会、産総研、理化学研究所、NICT、JAXA 等
国立	島根大学	島根大学が推進する GX 時代のデータ駆動型材料開発人材の育成～材料×情報の融合を中核とする 6 年一貫教育体系の構築～	R9	マテリアル、資源・エネルギー安全保障、GX 等	【養成する人材像】 材料科学と情報科学を融合し、GX 時代を先導するデータ駆動型材料開発人材 【特徴的な取組や科目の例】 「材料エネルギー研究科」設置、マテリアルデータサイエンス実践論、持続可能社会のための環境エネルギー概論等 【連携する組織】 次世代たたら協創センター、プロテリアル、中国電力、インド工科大学ハイデラバード校等
国立	広島大学	造船・海運分野における広島大学の高度情報デジタルイノベーション人材育成	R10	造船、港湾ロジスティクス、海洋 等	【養成する人材像】 造船・海運分野におけるフィジカル AI・デジタルツイン・ロボティクス・データサイエンスに強みを持つ高度情報デジタルイノベーション人材 【特徴的な取組や科目の例】 「造船デジタルイノベーションプログラム」設置、DX/GX 実装化特論、フィジカル AI 実装化特論、データサイエンス実装化特論等 【連携する組織】 呉市・広島大学 Town & Gown Office、海洋文化都市くれ推進協議会、世界海事大学等

国立	愛媛大学	愛媛大学と地域産業の協働による「海事産業を牽引する高度専門人材」育成事業	R9	造船 等	【養成する人材像】 海事産業に関する専門知識を基盤として、情報技術、フィジカル AI、ロボット技術、環境・エネルギー技術等を現場へ応用・実装できる高度専門人材 【特徴的な取組や科目の例】 「海事産業特別プログラム」設置、海事データサイエンス、海事 DX 概論、海事 GX 概論、海事 PBL 演習、海事産業インターンシップ等 【連携する組織】 えひめ海事産業協働コンソーシアム、今治市、今治地域の工業高校、弓削商船高専等
国立	九州大学	次世代コンピューティングシステム人材育成事業	R10	AI・半導体 等	【養成する人材像】 DS-CS ギャップを超え、コンピューティング基盤を「創り出す能力」と「使いこなす能力」の双方を備えた I&E 型高度情報人材 【特徴的な取組や科目の例】 「I&E コンピューティングシステムコース」設置、I&E 型先端ハンズオン（国際連携演習／アイデアソンも含む）、I&E 産学連携実践 PBL、最先端 IT 企業レクチャー等 【連携する組織】 福岡県、福岡市、産総研、台湾陽明交通大学、九州・沖縄半導体人材育成拠点等
国立	熊本大学	宇宙情報科学コース	R10	AI・半導体、航空・宇宙 等	【養成する人材像】 「情報×宇宙科学×AI」を柱とし、宇宙科学を通して汎用的な情報・AI スキルを身につけた高度情報人材 【特徴的な取組や科目の例】 「宇宙情報科学コース」設置、大規模宇宙データ解析実論、宇宙実データ PBL、海外研究滞在、国際共同研究参加等 【連携する組織】 JAXA、国立天文台、インド NCRA、オーストラリア CSIRO、NASA、東北大学、熊本県等

公立	横浜市立大学	横浜市立大学理学系大学院を横断した AI for Science を基盤とする専門人材育成	R10	マテリアル、合成生物学・バイオ等	【養成する人材像】 物性科学・マテリアル、バイオテクノロジー、生命科学・医科学等分野の高度な知識及び能力と AI・データサイエンスを融合し、仮説生成から社会実装までを一気通貫で推進できる高度専門人材 【特徴的な取組や科目の例】 AI for Science 基盤教育（研究データ管理、統計解析等）、大規模シミュレーション、バイオインフォマティクス、創薬データ解析、研究開発型インターンシップ等 【連携する組織】 理化学研究所、産総研、NIMS、JAMSTEC、NTT 物性科学基礎研究所等
公立	山陽小野田市立山口東京理科大学	工学研究科医薬工学専攻の新設ーバイオ分野におけるデータ駆動型（Bio-DX）次世代人材育成を核とした地域・産業協創研究拠点事業ー	R10	合成生物学・バイオ、創薬・先端医療 等	【養成する人材像】 バイオテクノロジーを基盤に AI・データサイエンスや薬学分野等と連携した分野横断型教育を展開し、研究開発・品質保証・社会実装を担うデータ駆動型（Bio-DX）次世代人材 【特徴的な取組や科目の例】 「医薬工学専攻」設置、AI・データサイエンス・統計解析、品質評価、規制科学、バイオデータ解析、PBL・社会連携等 【連携する組織】 山口県薬工連携 GMP カレッジ、(一社)バイオリジクス研究・トレーニングセンター、ボストン大学等
私立	東京薬科大学	東京薬科大学大学院創薬科学研究科の設置および「データサイエンス（DS）基盤バイオ医薬統合教育（Toyaku Bio Bridge）プログラム」の創設	R10	合成生物学・バイオ、創薬・先端医療 等	【養成する人材像】 バイオ医薬品を対象に、製造、品質保証、規制対応に至るまでを横断的に理解し、データサイエンスを基盤として創薬研究から社会実装まで一貫して接続できる人材 【特徴的な取組や科目の例】 「創薬科学専攻」及び「データサイエンス（DS）基盤バイオ医薬統合教育（TBB）プログラム」設置、バイオ医薬製造学、バイオ医薬品製造・品質保証データサイエンス等 【連携する組織】 (一社)バイオリジクス研究・トレーニングセンター、東京医科大学、創薬エコシステム等

私立	立命館大学	宇宙・地球・情報融合による立命館大学宇宙地球フロンティア人材育成拠点形成事業	R10	航空・宇宙等	【養成する人材像】 理学・工学・マネジメントを融合して宇宙分野における研究・業界をリードする宇宙地球フロンティア人材 【特徴的な取組や科目の例】 「宇宙地球フロンティア専攻」設置、宇宙地球探査科学、宇宙地球探査技術、イノベーション・マネジメント、ハンズオン教育等 【連携する組織】 宇宙地球探査研究センター（ESEC）、株式会社島津製作所、三菱重工業株式会社等
高専	滋賀県立高等専門学校（新設予定）	滋賀県立高等専門学校における成長分野を支える半導体人材育成事業	R10	AI・半導体等	【養成する人材像】 電気電子工学の基礎知識に加え、特に電力・制御、半導体の分野を強化し、今後のエレクトロニクス産業の発展と持続可能な社会の実現に貢献できる人材 【特徴的な取組や科目の例】 「みらいエレクトロニクスコース」設置、半導体工学、半導体プロセス技術、集積回路工学、センサ工学、演習・実験・PBL 等 【連携する組織】 滋賀県立高等専門学校共創フォーラム、滋賀県立大学等

（※ 1）新設予定の高専名は申請書ベースの記載であり、今後、名称の変更がありうる。別途、設置認可等の手続きが必要。

（※ 2）申請概要は申請書を基に文部科学省にて作成。

大学・高専機能強化支援事業（成長分野転換基金）

令和7年度補正予算額
※令和4年度第2次補正予算額

200億円
3,002億円

現状・課題

- **少子高齢化**に加え、2040年には、**生産年齢人口の減少による働き手不足**により、我が国の社会・産業構造の大きな変化が見込まれる一方で、今後求められる理系人材を輩出する**理系学部**の定員が**未だ少ない**状況。
- また、日本成長戦略本部において、「**未来成長分野に挑戦する人材育成のための大学改革、高専等の職業教育充実**」について検討課題とされており、**半導体等の重点分野に関する人材育成を迅速に取り組む**必要。
- さらに、成長分野における即戦力となる人材育成を行う高専について、**公立高専の新設**の動きもある状況。

<2040年の産業構造・就業構造推計>

	管理職	専門的技術的職業	事務	販売	サービス	生産工程	輸送・機械	運輸・清掃・包装等
	職業	職業	職業	職業	職業	職業	職業	職業
	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)	2040年・人口外等の 選定職業(注)
2040年の労働需要	124 [※] (175万人)	1387 [※] (1330万人)	498 [※] (172万人)	1166 [※] (1300万人)	735 [※] (670万人)	714 [※] (724万人)	865 [※] (900万人)	193 [※] (1280万人)
供給とのミスマッチ	51 [※]	-49 [※]	-326 [※]	214 [※]	51 [※]	10 [※]	-281 [※]	-24 [※]
2040年・人口外等の 選定職業(注)	14万人	280万人	210万人	140万人	80万人	80万人	240万人	120万人
2040年の労働需要	2112 [※] (2075万人)	1212 [※] (1160万人)	685 [※] (625万人)	227 [※] (103万人)	1545 [※] (1573万人)	83 [※] (90万人)		
供給とのミスマッチ	-37 [※]	-52 [※]	-60 [※]	-47 [※]	28 [※]	7 [※]		
2040年・人口外等の 選定職業(注)	2735万人	1340万人	563万人	154万人	1332万人	79万人		

将来の社会・産業構造変化を見据え、大規模大学を含めて、成長分野への学部等転換・重点分野の人材育成を一層強力に推進

支援内容

(1) 学部再編等による特定成長分野（デジタル・グリーン等）への転換等（支援1）

①「成長分野転換枠」（継続分） 学部再編等に必要な経費20億円程度まで

- ・産業界との連携を実施する場合に助成率を引き上げ

②「大規模文理横断転換枠」（新設） 大規模大学を含め、文理横断の学部再編等を対象にした支援枠を新設し、必要な経費40億円程度まで

- ・施設設備等の上限額を引き上げるとともに、支援対象経費に「新設理系学部の教員人件費」、「土地取得費」等を追加
- ・大学院の設置・拡充、産業界との連携を実施する場合に助成率を引き上げ
- ・文系学部の定員減を要件化、既存の文系学部の教育の質の向上に向け、ダブルメジャーを導入するなど高度なレベルの文理融合教育を実施する場合も支援対象
- ・教育課程や入学選抜における工夫、高校改革を行う自治体、DXハイスクール・SSHとの継続的な連携等について確認を実施

○支援対象（①、②共通）：公私立の大学の学部・学科（理工農の学位分野が対象） ※原則8年以内（最長10年）支援、令和14年度まで受付

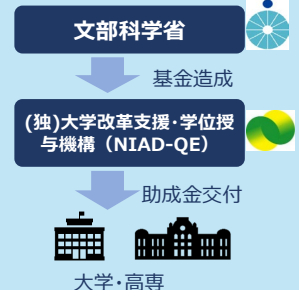
(2) 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化（支援2）

これまでの高度情報専門人材の育成に加え、**AI、半導体、量子、造船、バイオ、航空等の経済成長の実現に資する重点分野**に係る高専等の学科・コースの設置等に伴う体制強化に必要な施設・設備整備費、教員人件費等**10億円程度**まで

※情報系分野の**高専新設・転換**の場合、上限額を**20億円程度**まで引き上げ

○支援対象：国公私立の大学（大学院段階）・高専 ※最長10年支援、令和10年度まで受付

【事業スキーム】



期待される効果

大規模大学の学部再編等も契機にしつつ、我が国の大学等の文理分断からの脱却を含む成長分野への組織転換を図ることで、社会・産業構造の変化に対応できる人材を育成・輩出し、一人一人の豊かさや我が国の国際競争力の向上、新たな価値の創造等に資する

（担当：高等教育局専門教育課）